

留萌市におけるブルーカーボン推進に向けた取組について

留萌市では、国が2050年までに二酸化炭素(CO2)をはじめとする温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを目指すことを提言している中、当地区においても「ブルーカーボン」によるCO2吸収源対策、さらには水産業振興策両面での推進に向けた実証試験を行っています。

将来、事業化による地区における環境対策につなげ、更には、経済対策に寄与するよう取り組みを進めています。

取組内容

海藻(草)を繁茂させる取組

- ・海藻養殖
- ・天然藻場の増加



養殖手法を用いた取組(留萌港)

ブルーカーボンとは
海藻(藻)やマングローブ、干潟などの海洋生態系によって吸収・貯留された炭素のことであり、わが国の海藻生産量の7割を占める北海道は、ブルーカーボンによるCO₂吸収・貯留ポテンシャルが非常に高い地域と考えられる。

期待効果

CO2の削減



オフセット申請により財源確保

漁業への波及効果



ウニ類の身入り向上
ニシンの産卵による増殖

水産業への波及効果



リシリコンブに産付けられたニシン卵



ウニ類の身入り向上

脱炭素への効果が期待される留萌海域に自生する海藻(草)



ワカメ



リシリコンブ



チヂミコンブ



スガモ

